

目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更 (※)	理由・根拠
①介護・福祉・保育 人材不足解消 介護・福祉・保育の 魅力PR ②障害福祉サービス の充実	◇こまき福祉のおしごとフェアの開催 (12月16日実施)	P. 35	こまき福祉のおしごとフェア実行委員会 毎月開催 出展数 16法人と小牧市幼児教育・保育課 【求人来場者数：15名】	求人来場者数は少なかった。理由は愛知県社会福祉協議会福祉就職フェアと被っていた事や、学生は就職が内定している時期、社会人はボーナス期と退職・転職時期ではない。ふれあいセンターは小牧駅から距離があり、車での移動が必要。	終了・継続 → 同じ・変更	新規求人数が増えるのは1月～3月、8月～10月という調査結果もあり、(「転職市場の繁忙期と閑散期」～doda)、12月ではない開催を検討していく。
①地域住民の障がいに関する理解促進 ②障がい福祉サービスの周知	◇障がい者の日 (12月9日) 障がい者週間 (12月3日～12月9日)の啓発をする (社協だより等)	P. 32	こまき社協だより 12月号掲載	広く障がい福祉について広報ができた。	終了・継続 → 同じ・変更	広報こまき及びこまき社協だよりは、市内の区に入会している全戸に配布している。
	◇障がい福祉サービス事業所一覧更新		新規事業所への掲載依頼、各事業所に確認作業を行い、1月末完成。	令和5年12月の情報で作成できている。	終了・継続 → 同じ・変更	毎年更新し、最新の障がい福祉サービスを周知していく。

目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更 (※)	理由・根拠
①サービス事業所が防災の意識を高めていく	◇災害時備蓄品リストの確認や呼びかけ	P. 50 P. 51	こども・日中活動系・就労支援連絡会でリストの確認	能登の地震もあり事業所に備蓄品の必要性を意識できた。BCP作成につなげていく。	終了・継続 → 同じ・変更	災害備蓄品リストについては作成できたため、今後は各事業所が意識を持って災害への備えとして、備蓄品の確認を行っていく。
②福祉サービス利用時以外でも災害時に備える	◇災害時避難行動要支援者台帳への登録啓発		こども・日中活動系・就労支援連絡会で台帳登録の啓発をした。	連絡会を通して台帳登録の啓発ができた。台帳登録後は、民生委員から連絡や訪問がある事を事業者を通じて当事者や家族に伝えていく事が必要。	終了・継続 → 同じ・変更	台帳登録は、民生委員・児童委員のみならず、サービス事業者及び相談支援専門員からも引き続き当事者(利用者)に周知する。
①障がいのある人が「親亡き後」も地域で安心して暮らし続ける	◇権利擁護についての研修 ・尾張北部権利擁護支援センター主催等、権利擁護に関する研修への参加協力	P. 25 P. 26 P. 32	「尾張北部圏域の障がい福祉を考える会」 6月23日開催 【参加者 8名】	親亡き後、障がいのある方が地域で自立して生活していくためにすべきことや、理解者を増やしていくことが、権利擁護に繋がることわかったなど、研修を受けたことで、多くのことを学べた。	終了・継続 → 同じ・変更	権利擁護に関する研修会の開催の周知に協力する。

(※) 次年度も同じ内容で継続、または目的を変えず方法を変えるという意味で変更